

時短エクセル(第86回)

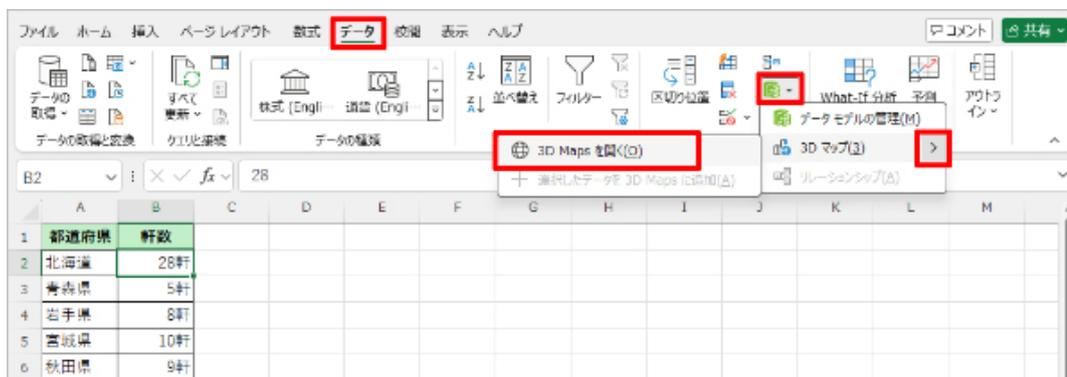
都道府県別データを3Dマップで表現する

2025.01.21

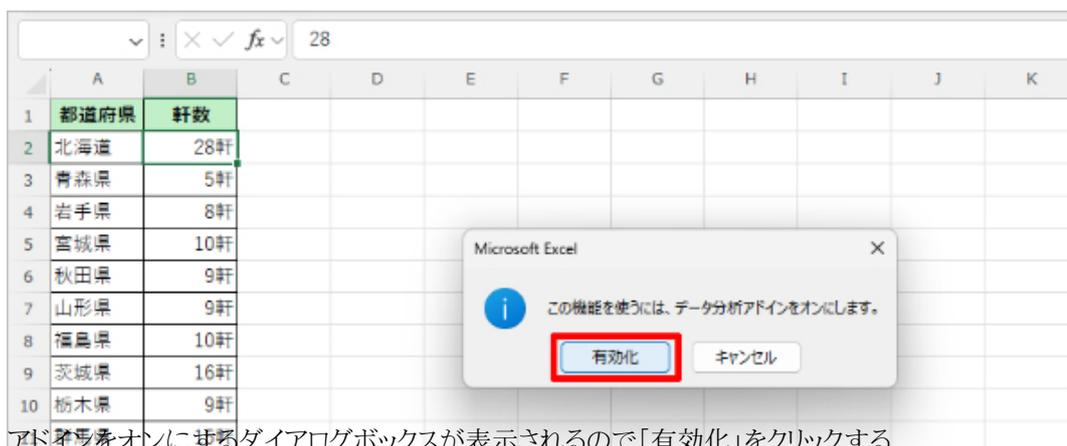
前回、都道府県別のデータを北から順番に並べる方法を解説した。今回はそのデータを地図上にプロットして3Dマップを作成してみよう。表だけでは比較がしづらいが、グラフ化すると視覚的に把握しやすい。

3Dマップを使うには

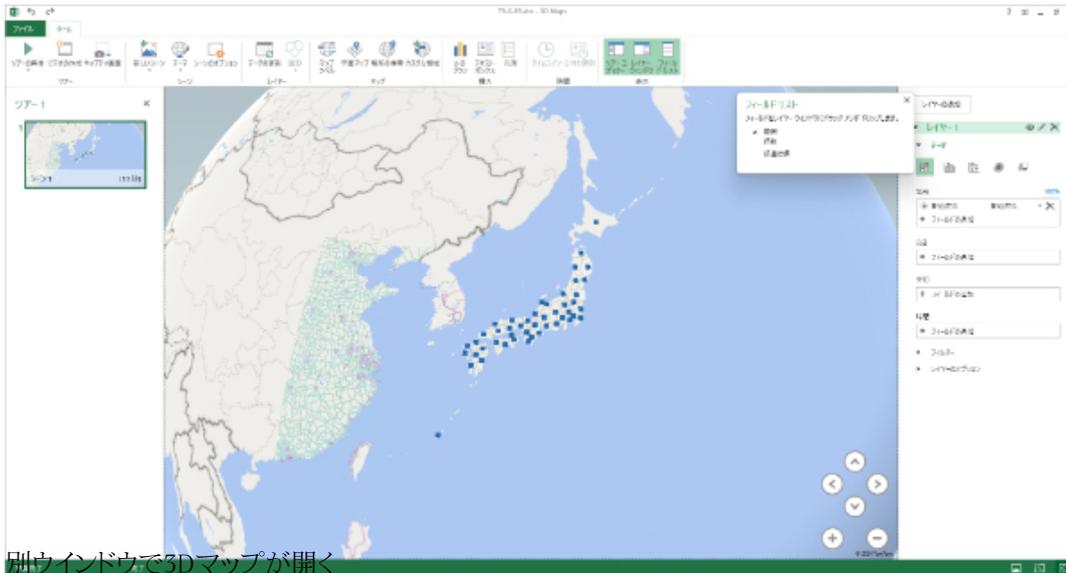
まずは、3Dマップを使う手順を紹介する。



表内にカーソルを置いた状態で「データ」タブの「データツール」で「データモデル」をクリックし、「3D マップ」→「3D Mapsを開く」をクリックする



アドインをオンにするダイアログボックスが表示されるので「有効化」をクリックする

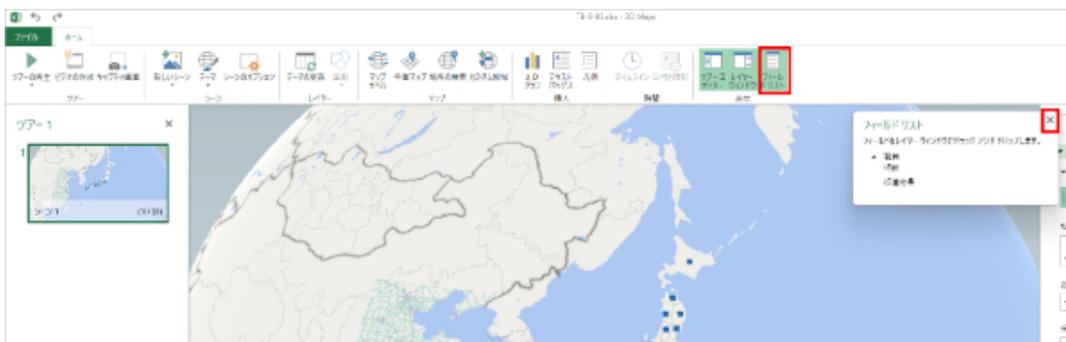


別ウインドウで3Dマップが開く

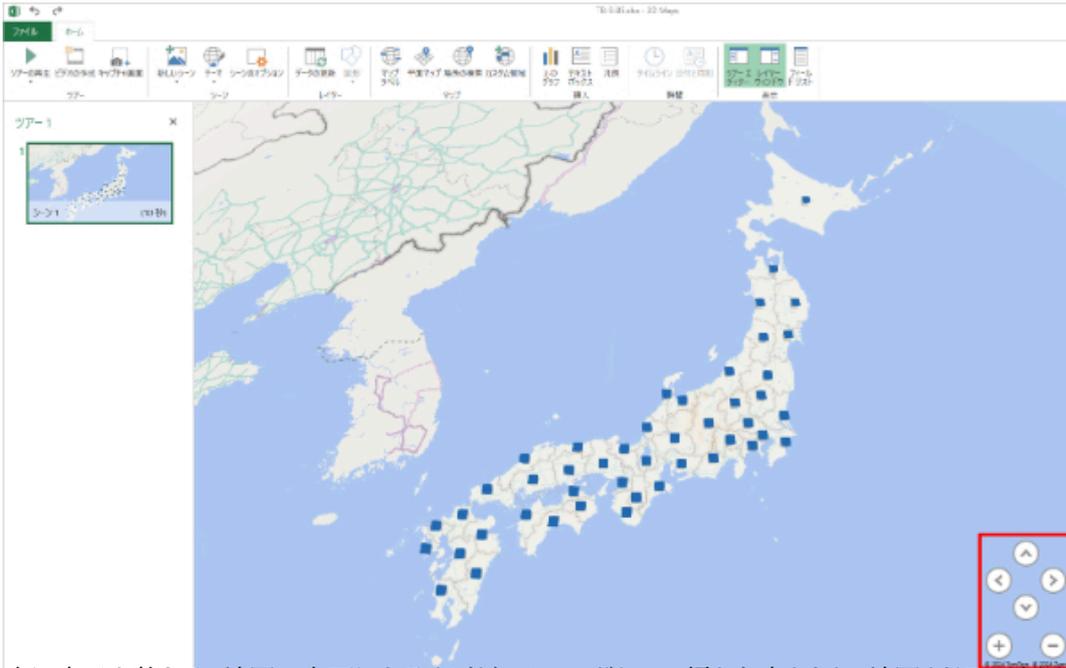
なお、ここではWindows 11上でMicrosoft 365のExcelを使用した。Windows 11のバージョンは24H2。バージョンによってはメニューの位置などが異なる場合がある。従来のバージョンでは「挿入」タブの「ツアー」グループの中に「3Dマップ」がある。

3Dマップを作成する

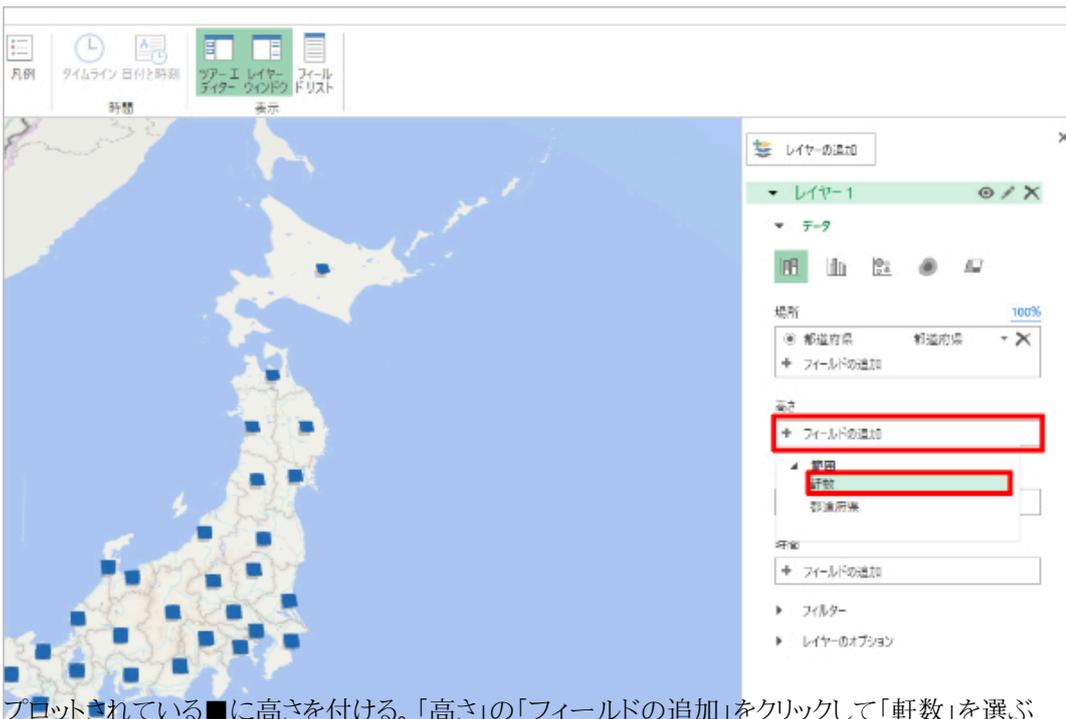
準備ができれば3Dマップを作成していこう。といっても、すでに各都道府県には■がプロットされているので、操作は簡単だ。



「フィールドリスト」は不要なので右上のXを押して閉じる。上部メニューの「フィールドリスト」をクリックしても閉じることが可能



次に表示を整える。地図の右下にあるナビゲーションボタンで傾きや大きさを、地図をドラッグすれば位置が調整できる



プロットされている■に高さを付ける。「高さ」の「フィールドの追加」をクリックして「軒数」を選ぶ



書式を変更して表の横に貼り付ける… 続きを読む